

2020年3月27日

鹿児島大学病院 救急集中治療科 で
集学的治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院救急集中治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

重症敗血症性ショック患者の背景や治療実態、予後を観察する登録研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 救命救急センター 救急集中治療科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 救命救急センター 救急集中治療科
役職 氏名 教授 垣花泰之

【研究の目的】

日本における敗血症性ショック患者に対する様々な治療実態を明らかにし、同時に患者背景や予後を評価することで、敗血症性ショック患者の有効な治療を探索すること。

【研究の方法】

通常診療内で測定するデータや検査値を登録し、集積します。治療の実際とその成績を検討し、敗血症性ショック患者に有効な治療方法を見出し、検査や

治療の実態を調査します。患者さんから頂いた診療情報は、パーソナルコンピュータを用いて特定の関係者以外がアクセスできない状態で入力されます。入力されたデータには患者さん個人が特定できるものではなく、患者とデータの対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。また、入力されたデータは最終的に、共同研究機関の東北大学（研究責任者：川副 友）に提供されます。

【対象となる患者さん】

2019年7月～2021年12月に鹿児島大学病院救命救急センター（救急病棟・集中治療室）で敗血症性ショックのために治療を受けた18歳以上の患者さんを対象とします。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

この研究のための試料採取はいたしません。情報として病歴、年齢、性別、治療に際して取得した血圧や脈拍の変化、採血検査の値などを使用します。これらの情報は、研究責任者・並びに分担者が取り扱い、試料・情報の管理に関しては、当院研究責任者：垣花泰之が責任を持って保管します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接指定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、特定非営利活動法人臨床評価研究所から登録症例数に応じて支払われる症例登録経費を使用します。特定非営利活動法人臨床評価研究所は、会員からの会費に加えて、以下の団体・企業からの活動資金を受け入れて、研究及び教育活動を行なっています。

団体・企業名（過去3年）：島根県、琉球大学、熊本大学、京都府立医科大学、

大阪府立病院機構、日本心臓財団、日本循環器学会、日本高血圧学会、岡山臨床研究医療統計研究会、株式会社ネクシス、ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社、ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社、興和株式会社

現時点において、研究責任者及び特定非営利活動法人臨床評価研究所に利益相反となる状態は存在しませんが、研究責任者は所属施設の利益相反マネジメントに基づき、適切に管理を行います。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学会発表などすでに公開された後のデータなど、患者様またはご家族からの撤回内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 救命救急センター 救急集中治療科

役職 氏名 教授 垣花泰之

電話 099-275-5646 FAX 099-275-5654